

Asian Productivity Organization

Hirakawa-cho Dai-ichi Seimei Bldg. 2F
1-2-10, Hirakawa-cho, Chiyoda-ku
Tokyo, 102-0093 Japan



Tel:(81-3)5226-3920 Fax:(81-3)5226-3950
E-mail: apo@apo-tokyo.org
URL: www.apo-tokyo.org

【報道資料】

2009年3月

アジアの循環型社会構築を目指す、アジア最大級の国際環境展 第5回エコプロダクツ国際展 フィリピンで開催

最先端の環境技術から製品・設備・システム・サービスまで、
「環境」のすべてが一堂に集結！



国際機関APO(アジア生産性機構)は2009年3月19日から22日まで、環境配慮型製品・サービスの総合展示会「第5回エコプロダクツ国際展」をマニラのSMXコンベンションセンターでフィリピン生産性本部・フィリピン産業界環境支援組織と共に開催します。

今回のエコプロダクツ国際展のテーマは「持続可能な消費、生産、そして未来」。三菱電機、三井住友銀行、パナソニックなどの日本企業を含め、フィリピン、オーストラリア、マレーシアなどから80以上の企業・団体が参加します。開会式では環境配慮型製品・サービスの総合目録「エコプロダクツ・ディレクトリー2009」の公式発表もおこなわれます。また会期中は本国際展のテーマに添って議論する国際会議が併催されます。(出展内容は次ページをご参照下さい。)

APOは**緑の生産性諮問委員会**(現会長・野間口有氏 三菱電機取締役会長)の全面的な支援・協力を得て、環境に配慮した製品・サービスの総合展示会である「エコプロダクツ国際展」を、加盟国のリレー形式による開催で2004年からこれまで過去4回開催しています。昨年3月にベトナム・ハノイで開催した同国際展には日本を含めた9カ国から91の企業・団体が参加し、4日間で過去最高の9万8千人以上が来場という成功を収めました。



フィリピン政府も本国際展成功への全面協力を表明。
写真は昨年6月の現地公式記者発表の際フィリピン・アロヨ大統領と会見したエコプロダクツ国際展準備委員会委員長・北山禎介氏(三井住友銀行取締役会長<写真中央>)とAPO事務総長・竹中繁雄。

緑の生産性諮問委員会とは、APOが1994年より実施している緑の生産性事業をより効果的に実施するため、世界最高水準の環境技術を持つ日本企業からの助言や協力を得るため2003年に設立した委員会です。諮問委員会には現在60社以上の環境先進企業が参加し、エコプロダクツ国際展開催ほか、関連事業の支援をしています。

エコプロダクツ国際展の特徴

特徴1: 国を代表するキーパーソンや主要企業トップが集結

関係国の大臣・政府高官や学界および、環境先進企業のトップといった、政治や経済を最前線で牽引するキーパーソンやエキスパートにより、環境についての意見交換や情報収集が双方向で活発に展開されます。

特徴2: 国家プロジェクトから企業間取引まで、多面的なビジネスマッチング

環境技術・社会インフラや製品・サービスまでの多様な出展に対し、一般の有力企業や団体はもとより、政府機関や企業団体からも多くの意志決定者が来場。多面的なビジネス拡大、新規参入のチャンスが広がります。

特徴3: 一般市民・消費者への効果的な環境ブランド戦略

学校単位で動員予定の小中高生や大学生、環境や最先端の製品・技術に興味関心を持つ市民等が多数来場。エコプロダクツ国際展は一般市民・消費者向けの環境展示会としても定評を得ています。一般市民・消費者へ向けた、より効果的な環境ブランド戦略や環境マーケティングの絶好の機会となります。

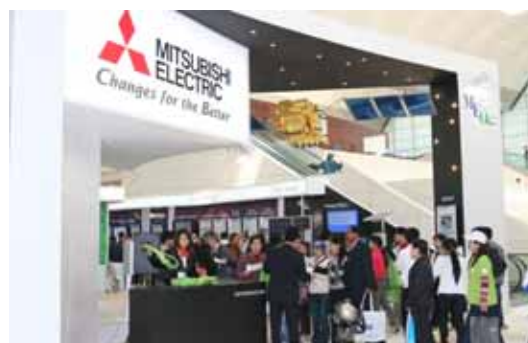
出展対象

エコプロダクツ: エネルギー、家電、事務機器、情報通信機器、文具事務用品、自動車 運輸、輸送用機器・部品、住宅住宅設備、建築・建材、エコマテリアル、容器・包装、流通物流、衣料・日用品、食品・飲料、エコレジャー、オーガニック

環境への取り組み: CSR (社会的責任)、環境コミュニケーション、環境教育、自然保全・再生、地球支援、技術解説

エコサービス: 金融・環境基金、排出量関連・CDM関連、リースレンタル、回収事業・中古販売、エコ支援システム、ESCO 汚染防止アセスメント、コンサルティング、マーケティング、エコツーリズム

環境技術・ビジネス: エネルギー、再資源化、バイオマス、大気汚染対策、研究関連機関



2008年3月に開催された第4回エコプロダクツ国際展(ベトナム・ハノイ)の様子

詳細およびお問い合わせ先

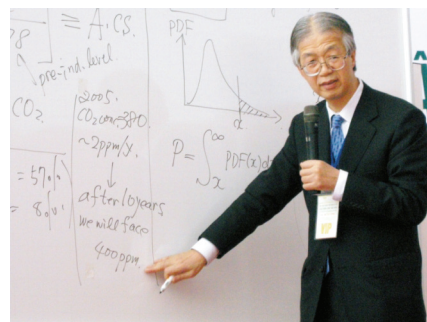
国際機関APO 工業部まで

電話03-5226-3925 / 3926 FAX 03-5226-3955 Eメール epif@apo-tokyo.org

ウェブサイト <http://www.epif09.org/jap/index.html>

「持続可能な生産、消費、そして未来」に関する国際会議

International Conference on Sustainable Consumption, Sustainable Production, Sustainable Future



日 程	2009年3月19日(木)～21日(土)
時 間	9:00～17:00
場 所	フィリピン・マニラ SMXコンベンションセンター
言 語	英語
参 加 費	3日通し: US\$250.00- (昼食、コーヒースタンド、会議セット一式などを含む) 1日のみ: US\$84.00- (昼食、コーヒースタンド、会議セット一式などを含む)

プログラムハイライト

<2009年3月19日(木)>

第1日目: 開会式・全体セッションー持続可能な生産と消費について

- ・ アロヨ大統領(調整中)
- ・ GP諮問委員会会長 三菱電機株式会社 取締役会長 野間口 有氏
- ・ フィリピン産業界環境支援組織 会長 シェル・フィリピン フィリピン支社会長 エドガー・チュア氏

<2009年3月20日(金)>

第2日目: 環境ビジネスとエコファイナンスのチャンスと挑戦

- ・ エコプロダクツ国際展準備委員会委員長 株式会社三井住友銀行 取締役会長 北山 禎介氏
- ・ 国連環境計画・金融イニシアティブ アジア・太平洋地域特別顧問 末吉 竹二郎氏
- ・ 台湾企業持続可能開発協会 理事長 ニヴェン ファン氏
- ・ 国際協力銀行(JBIC)様 クリーン開発メカニズム(CDM)に関するセッション*

<2009年3月21日(土)>

第3日目: グリーン調達とグローバル・チャレンジ

- ・ GP諮問委員会副会長 東京大学 山本 良一教授
- ・ アジュ大学 クン モー リー教授

注:上記の情報は2009年2月25日現在のものです。一部変更になることがあります。ご了承ください。

お問合せ

Ms. Tetet Serrano

Center for Sustainable Human Development
Development Academy of the Philippines
Address: DAP Bldg., San Miguel Ave. Pasig City 1600, Philippines
Tel: (+632)-631-2131 Fax: (+632)-631-2169
Email: epif09conference@dap.edu.ph

詳細および事前お申込につきましては下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://cshd.dap.edu.ph/epif>

* 3月20日に開催されるこのセッションには国際協力銀行様からの助成がございます。
このセッションのみのご出席をご希望される場合には、下記までお問い合わせください。

JBIC Manila Office (Norlyn or Cecile)

Tel: 2-856-7711 ext.102 and 104

Fax: 2-856-7715

Mail: n-orlina@jbic.go.jp / c-cruz@jbic.go.jp



オフィシャルウェブサイト: <http://www.epif09.org/jap/index.html>

日本事務局

国際機関APO 工業部

千代田区平河町1-2-10-2F

Tel: 03-5226-3925 / 3955

Fax: 03-5226-3955

Email: ind@apo-tokyo.org



「第6回エコプロダクツ国際展」が
2010年にインドネシアで
開催する事が決定しました。

つきましては、次回開催説明会を
「第5回エコプロダクツ国際展」
開催中に実施する予定です。

事前予約制となります。(無料)

**【日時】 2009.3.21 (土)
10:30~11:30**

**【会場】 SMXコンベンションセンター
(フィリピン・マニラ)**

次回開催説明会の参加希望、
お問い合わせは、下記運営事務局まで
メール、またはお電話にてご連絡下さい。

「第5回エコプロダクツ国際展」
運営事務局 株式会社ファースト
【Tel.】 03-3545-9811
【FAX】 03-3545-9404
【E-mail】 epif@the-first.co.jp

第6回エコプロダクツ国際展は
インドネシアにて開催決定！